

参考資料

1—神戸市総合交通計画検討委員会の開催概要

開催経緯

開催日	概要
平成24年8月7日	第1回神戸市総合交通計画検討委員会開催
平成24年9月24日	第2回神戸市総合交通計画検討委員会開催
平成24年11月19日	第3回神戸市総合交通計画検討委員会開催
平成25年1月8日	第4回神戸市総合交通計画検討委員会開催
平成25年3月28日	第5回神戸市総合交通計画検討委員会開催

委員会名簿

所属・役職	氏名
学識経験者	
東京工業大学大学院理工学研究科 教授	朝倉 康夫
京都大学大学院 工学研究科・医学研究科 安寧の都市ユニット 特定教授	土井 勉
神戸大学大学院経営学研究科 教授	水谷 文俊
関西学院大学総合政策学部 教授	角野 幸博
交通事業者	
神戸電鉄株式会社 鉄道事業本部 副本部長 兼 運輸部長	畑 栄一
西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部企画課 担当課長	奥田 英雄
阪急電鉄株式会社 都市交通事業本部 都市交通計画部 部長	庄 健介
阪神電気鉄道株式会社 都市交通事業本部 運輸部 部長	上田 晋也
神戸市交通局 経営企画調整課 課長	土井 佳典
各種団体	
公益社団法人 兵庫県バス協会 専務理事	中澤 秀明
社団法人 兵庫県タクシー協会 専務理事	清水 信生
市民団体	
神戸市自治会連絡協議会 会長	岩佐 光一朗
神戸市婦人団体協議会 会長	玉田 はる代
関係行政機関	
国土交通省 近畿地方整備局 建政部 都市整備課長	吉澤 勇一郎
国土交通省 近畿運輸局 企画観光部 交通企画課長	加納 陽之助

※所属・役職は平成24年8月時点のもの

2—用語解説

あ行

ICT(Information and Communication Technology)

情報・通信に関連する技術一般の総称。従来から用いられてきた「IT」とほぼ同様の意味で用いられるが、IT (Information Technology) の「情報」に加えて「コミュニケーション」(共同)性が具体的に表現されている点に特徴がある

エコショッピング

マイカーから公共交通への利用転換を図ることを目的に、市バス・地下鉄などを利用して提携する施設や店舗を利用すると、割引などの特典が受けられる制度

LRT

Light Rail Transit の略。軽量軌道交通のことであり、都市内やその近郊で運行される中小規模の鉄軌道全般をさす

温室効果ガス

大気を構成する期待で、赤外線を吸収し再放出する気体。気候変動に関する国際連合枠組条約の京都議定書では、人為的に排出される二酸化炭素 (CO₂)、メタン (CH₄)、一酸化二窒素 (N₂O)、ハイドロフルオロカーボン (HFC)、パーフルオロカーボン (PFC)、六ふっ化硫黄 (SF₆) の6物質が排出削減対象となっている

か行

カーシェアリング

事前登録を行った会員間や会社で自動車を共同使用するサービスないしはシステムで、利用者は自ら自動車を所有せず、管理する団体の会員となり、必要な時にその団体の自動車を借りる

コミュニティサイクル

コミュニティサイクルとは、自転車の貸出を受けた場所に返却する従来のレンタサイクルと異なり、複数の自転車貸出・返却拠点を設置し、どの拠点でも貸出・返却が可能となっている新たな交通システム

さ行

CIQ

Customs（税関）、Immigration（出入国管理）、Quarantine（検疫）を包括した略称

市街化区域

すでに市街地を形成している区域や、概ね 10 年以内に優先的かつ計画的に市街化を促進する区域（都市計画法第 7 条）

市街化調整区域

豊かな自然環境や農地などを守るとともに、無秩序な土地利用を防ぐため、市街化を抑制する区域（都市計画法第 7 条）

次世代自動車

ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、クリーンディーゼル車、電気自動車や天然ガス車など、二酸化炭素の排出量が、より削減された環境負荷の少ない自動車の総称

主要幹線道路

市内の道路のうち、都市の広域的な拠点機能をもつ道路（広域圏幹線道路）や、既成市街地内及び市街地間を連絡し市域の一体性を高める機能を担う道路（都市内幹線道路）、及びこれらの道路を補完する機能を担う道路（補完的幹線道路）を全て含めた総称

生活利便施設

日常生活を営む上で必要となる施設、商店街やスーパーマーケットなどの日常的な商品を扱う店舗や、銀行・郵便局などの金融機関、病院などの福祉関係の施設などがある

た行

地域交通

地域交通は以下のトリップを対象とします。

- ・地域内に発着両方を有するトリップ
- ・地域内に発のみを有するトリップの内、主な交通手段（例えば鉄道駅）に至るまでのアクセス交通
- ・地域内に着のみを有するトリップの内、主な交通手段利用後に（例えば鉄道駅から）目的地に至るイグレス交通

※地域内に発のみもしくは着のみを有するトリップで、主な交通手段が公共交通ではないものについては、地域交通の対象としない

※複数交通手段を利用する場合、主な交通手段（例えば鉄道駅）に至るまでの交通を「アクセス交通」といい、アクセス交通とは逆に主要な交通手段利用後に（例えば鉄道駅から）目的地に至るまでの交通を「イグレス交通」という

超小型モビリティ

超小型モビリティとは、自動車よりコンパクトで小回りが利き、環境性能に優れ、地域の手軽な移動の足となる1～2人乗り程度の車両である



超小型モビリティ導入に向けたガイドライン(平成24年6月)〔国土交通省都市局・自動車局〕より

超小型モビリティの分類図(走行形態別の例)

デジタルサイネージ

映像表示装置とデジタル技術を用いたデジタル案内板で、通信ネットワークを利用することで、案内情報などをリアルタイムで更新・配信することが可能となっている

都市機能

都市における市民の生活や産業を支えるために必要となる機能で、居住機能、行政機能、商業機能、交通機能、医療・福祉機能などがある

都市空間

市民がくらし、働き、学び、楽しむなど、様々な活動の場となる都市の空間の集合

都市構造

神戸市全体の都市空間の骨組みとなる土地利用や交通ネットワーク、自然環境

トリップ

人がある目的をもってある地点からある地点まで移動することの総称で、複数の交通手段を乗り換えても1つの目的による移動の場合は1つのトリップと数える

トリップエンド

発生量（ある地域を出発するトリップ）と集中量（ある地域に到着するトリップ）を加えたもの

な行

乗合タクシー

10人以下の人数を運ぶ営業用自動車を利用した乗合自動車で、過疎地など路線バスの機能が十分に発揮できない地域などで運行され、所定のダイヤと停車地に従って運行することから路線バスに近い感覚で利用することができる

は行

パークアンドライド

パークアンドライドとは、郊外の自宅から郊外の鉄道駅・バスターミナルまで自動車で移動し、駐車場に駐車（パーク）し、そこから電車・バスなど公共交通機関を利用（ライド）する移動方式

パーソントリップ調査

「いつ」、「どこから」、「どこまで」、「どんな人が」、「どのような目的で」、「どのような交通手段を利用して」移動したのかについて調査し、人の一日のすべての動きを捉える調査

PTPS

路上の光学式車両感知器とバス車載装置間で双方向通信を行い、バス優先信号制御、バスレーン内違法走行車への警告、バス運行管理支援、所要時間表示などをリアルタイムで行うシステム

BRT

Bus Rapid Transit の略。バス専用車線や連節バスなどを用いた都市輸送システム

包括旅行チャーター

旅行会社が主催する一般募集の旅行（例：パックスツアー）用のチャーター

ま行

MICE

企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（インセンティブ旅行）（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字のこと。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称

モビリティ・マネジメント

一人ひとりの移動が社会的にも個人的にも望ましい方向に、自発的に変化することを促すもので、アンケートなどのコミュニケーションツールを用いて、意識啓発を行う取り組みなどがある

神戸市総合交通計画

発効：平成 25 年 9 月

神戸市都市計画総局計画部計画課

〒650-8570

神戸市中央区加納町 6 丁目 5-1

TEL 078-331-8181（代表）



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

City of Design
KOBET

Member of the UNESCO
Creative Cities Network
since 2006



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

神戸市広報印刷物登録 平成 25 年度第 206 号（広報印刷物規格 A-1 類）